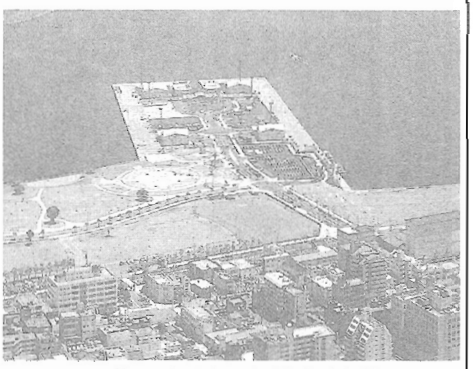
鹿児島港本港区 南ふ頭ターミナル完成

離島航路の円滑化に

5年度から整備を進めていた鹿児島港本港区南ふ頭ターミナルの完成式典が3日、鹿児島市の本港区南ふ頭敷地で開かれ、発注機関をはじめ、関係市町村、工事関係者らが工事の無事完成と航路の供用開始を盛大に祝った。

同日は、南ふ頭2号上屋で式典が行われ、和田正道県出納長が式辞を述べ、児島寛鹿児島港湾事務所長が工事報告した後、福森利夫鹿児島港湾空港工事事務所長、森山裕参議、川原秀男県議会副議長、木村耕一鹿児島市助役らが「離島航路の集約と商業・文化施設の導入による憩い・賑わい空間の形成を図るため整備を進めていた待望の施設が完成し、これからの離島航路の交通が円滑に図れるものと期待したい」と祝辞を述べた。

このあと、会場を旅客ターミナル前に移し熊毛振興協議会会長の落合浩英西之表市長、松元茂鹿児島経済同友会代表幹事ら10人がテープカット、日高貫昭中種子町長、柳田長谷男南種子町長、矢野勝己上屋久町長、日高十七郎屋久町長、栗原正三島村長、敷根忠昭十島村長や南林寺保育園の園児らがくす玉開披でオープンした。



110億円を投入し、完成した南ふ頭

施設は、岸壁等に約72億円、上屋等に約13億円、埋立等に約25億円を充て、全体で約110億円の事業。平成5年、岸壁工事に着手し、100社以上の工事関係者が従事し今回の供用開始となった。

建設技術者研修会

120人が出席して開かれた研修会
＝大隅町の大隅建設会館で

県建設業協会曽於支部 技術者研修会

工事施工の留意点解説

県建設業協会曽於支部（川畑勇三支部長）は3日、曽於郡大隅町の大隅建設会館で、建設技術者研修会を開いた。会員、関連会社から120人が出席、県大隅土木技術管理課職員らが講師を務める研修を熱心に受講した。

初めに、中村孝大隅土木事務所長が「厳しいなか、公共事業もどういった見通しが必要か原点に返る時期です。きちんとした施工、全体のマネジメントが大事です。発注者する側も努力していますので、この勉強会を有意義なものにしてください」と挨拶。

続いて、川畑支部長が「建設業界は、益々厳しい環境にあります。この厳しい時だからこそ勉強会を活用してすばらしい仕事をしていただきたい。あたえられた仕事を喜んで、一生懸命していただくよう実りのある研修会にしてください」と激励した。

学科研修は、丸一日かけて14年度土木工事積算基準の改正について、「建設リサイクル法」の全面施行について、13年度土木工事の検査結果、「公共工事適正化法」について、工事施工における留意点などを熱心に受講した。また九電鹿屋電力所送電課から「感電防止」のお願いとして、クレーン等重機作業中の感電事故防止を促すPRもあった。

中央仮設グループ社員総会

社員一丸 下半期へスタート

創立30周年へ向け、スタートを切った総会
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

中央仮設㈱（濵﨑和久社長）は1日、鹿児島市の城山観光ホテルで社員ら約100人が出席して社員総会を開き、地域密着と社会貢献の同社のスローガンを掲げ、社員全員が一丸となり下半期へ向けて更なるスタートを誓い合った。

総会の冒頭、濵﨑社長が「公共工事の縮減により厳しい現状が続いているが、まさにこれからが勝負である。お客様第一主義という原点に返り、スタッフ全員心をひとつにして頑張っていこう」と挨拶。続いて各ブロック長より上半期の状況と今後の見通し等の報告がなされた。

引き続き、行われた懇親会では濵﨑一朗会長が「皆様のおかげで今日をもって創立30周年へ向けてのスタートを切ることができました。この節目の日にお世話になった皆様に心から感謝いたしますとともに今後とも更なるご指導よろしくお願いいたします」と挨拶の後、祝宴となった。

この日は、鹿実硬式野球部の久保克之先生の監督退任祝いも行われ長年にわたる久保氏の労をねぎらったほか、お楽しみ抽選会などもあり大勢の出席者で盛り上がった。

白熱した熱戦が展開されたボウリング大会
＝指宿市の指宿いわさきホテルで

興南建友会ボウリング大会

薩摩コンクリートが優勝

興南建設㈱（浜田信行社長、本社・指宿市）は1日、指宿市の指宿いわさきホテルで、同社社員をはじめ協力会社の社員と、家族ら約100人が参加して、興南建友会親睦ボウリング交流大会を行った。大会では珍プレー好プレーが連続する中、薩摩コンクリートチームが見事優勝の栄冠に輝いた。

この交流会は、福利厚生の一環として、同社員と協力会社の親睦を深めることを目的に20年近く行っているもので、12年度まで続けてきた運動会に変わり、天候に左右されず全員参加型で開催できるものをと考え、13年度よりボウリング大会を開催している。

午前8時40分、会場に集まった参加者らを前に浜田社長が「今日は、年に一度のボウリング大会です。仕事を忘れて思う存分楽しんでください」と挨拶した後、親睦スタートを切った。試合は、前半・後半各12チームに分けて行われ、熱戦の結果、薩摩コンクリートチームが見事優勝の栄冠に輝いた。

主な成績は次の通り。

【団体】優勝＝薩摩コンクリート▽準優勝＝植村塗装▽3位＝興南建設D【一般男子】優勝＝池脇仁（薩摩コンクリート）▽準優勝＝和田幸助（興南建設B）▽3位＝南迫信弘（興南建設D）【一般女子】優勝＝中川博子（興南建設D）▽準優勝＝吉元良子（薩摩コンクリート）▽3位＝肥後正子（肥後金物）

ニシケン鹿児島支店落成式典

地元密着型サービスを

㈱ニシケン（水田朋義社長、本社・福岡県久留米市）が姶良郡姶良町に開設した鹿児島支店（横町孝雄支店長）の落成記念式典が3日、同町若松の現地で行われ、地元住民ら関係者多数が出席して無事竣工を祝うとともに、今後の事業発展を祈念した。

式典ではまず初めに神事が行われ、水田社長、西村文男㈱大正観光専務、平田昇㈱久建社長、福元久夫姶良町治会長、石神廣行石神測量設計㈱社長、増田吉治㈱コマツレンタル鹿児島社長らが玉串を捧げて、無事故での竣工を感謝した。

神前に玉串を捧げる水田社長
＝姶良町の現地で

会場を同町迫水荘に移して行われた披露会では、水田社長が「念願の鹿児島支店開設により九州全県に及ぶネットワークが完成した。今後は地元レンタル業と連携しながら業務を行っていきたい。福祉用具レンタル部門においても、特約店に対してメンテナンスや配送サービス、コンサル業務など地元密着型サービスができるようになった。姶良町は薩摩と大隅を結ぶ要の部分であり、鹿児島宮崎両県の拠点ともなる場所。地域自治会にも入会し、地元に溶け込んだ身近なサービスを行っていく所存であり、皆様のご協力、アドバイスをお願いしたい」と挨拶。

施工を担当した㈱久建の平田社長に感謝状が贈られた後、来賓を代表して福元町長が「日本で初めて建設機材のレンタル会社として創業された貴社は、土木、建築機械から福祉用具に至るまで幅広い業務内容で高い実績をあげて来られた。この度の鹿児島支店開設は、本町の発展に大きく寄与するものと期待している」と祝辞を述べた。